

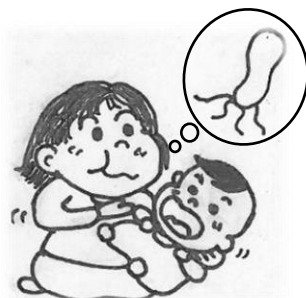
ピロリ菌を知っていますか？

—松山市中学生ピロリ菌検査事業について—

1. ピロリ菌とは

●ピロリ菌ってなに？

ピロリ菌は胃の粘膜にすみつく細菌です。
正式名称は「ヘリコバクター・ピロリ」といいます。
感染経路はまだ不明ですが、衛生環境が整備されていない時代や地域などでの経口感染によると考えられています。
免疫機能が十分に発達していない乳幼児期に感染することがほとんどです。



●ピロリ菌がいるとどうなるの？

胃がんとピロリ菌は密接に関係しているといわれており、WHO（世界保健機構）もタバコやアスベストなどと同じように、ピロリ菌を「確実な発がん因子」と認定しています。

ピロリ菌感染で胃の粘膜が萎縮し炎症がおきるため、胃がん以外にも、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、胃ポリープなどを発症しやすくなります。

このため国は、がんの予防法として、機会があればピロリ菌の検査を受けることを紹介しています。



2. 松山市のピロリ菌検査

●どんな検査をするの？（図1参照）



一次検査（尿中抗体検査）

保護者の同意のあった希望者を対象に、学校に提出した尿検体を用いて、尿に含まれるピロリ菌に対する抗体の有無を調べる方法で行います。



検査希望の方は、別紙「中学生ピロリ菌検査事業 一次・二次検査申込書兼同意書」をご提出ください。

二次検査（便中抗原検査）

一次検査で陽性と判定された方には、一次検査の結果通知とともに二次検査の詳細を案内します。二次検査は、検便で便の中に排泄されるピロリ菌を基にする抗原の有無を調べる方法で行います。

検査費用は、一次検査、二次検査とも無料です。

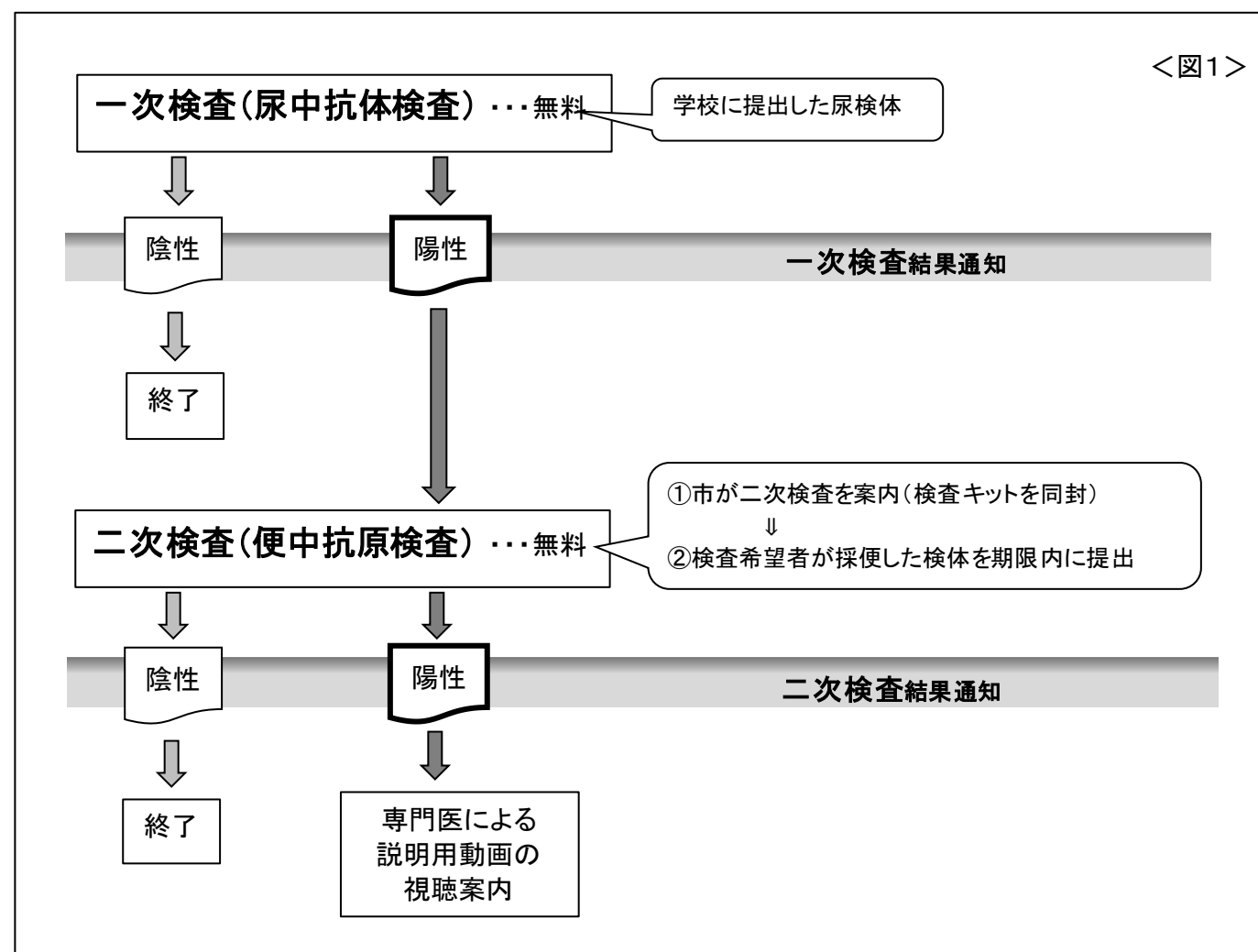
●二次検査を受ける時はどうすればいいの？

一次検査結果が陽性の方には、一次検査結果通知時に二次検査をご案内します。

下記手順に沿って検査を受けてください（図1参照）。

【手順】

- ①一次検査で「陽性」と判定された方には、結果通知とともに、「二次検査のご案内」と「検査キット」を郵送します。
- ②採便方法等の説明書に基づき採便し、採便した検体（検査キット）を、「二次検査のご案内」で別途お知らせする提出期限内に提出先へご提出ください。
※便の採取に失敗した場合や期限内の提出が難しい場合は、健康づくり推進課へご連絡ください。



●二次検査で陽性になったら、どうすれば？

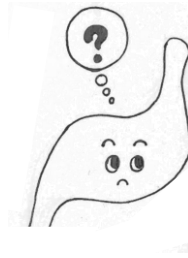
二次検査結果が陽性の方には、二次検査結果通知時に、「専門医による説明用動画」の視聴についてご案内する予定です。

また、保険診療の対象となる高校入学後（検査から約2年後）に協力医療機関の受診案内文書をお送りしますので、その際には、精密検査のためにも、一度ご受診ください。

3. 除菌治療について

●除菌ってなに？

抗生剤と胃酸を抑える薬を一週間服用してピロリ菌を除菌するもので、除菌により胃がんや消化性潰瘍などの発症する確率を減らす可能性があります。



●今回の市の制度で、除菌の費用補助はあるの？

ピロリ菌の除菌治療の費用に対する補助（助成等）は、松山市では実施しません。理由は下記のとおりです。

- 👉 ピロリ菌除菌に用いる薬剤は、現時点で中学生を含む小児に対する安全性が確立されていないため、中学生での除菌は保険診療の対象となっていません。
- 👉 国は、除菌の胃がん発症予防に対する有効性等について検討中です。

●除菌は保険診療が適用されるの？

保険診療としてピロリ菌の除菌治療を行うには、ピロリ菌検査に加え、

- 1 胃内視鏡検査（胃カメラ）を実施し、胃炎等の確認が必要です。
- 2 除菌治療は、抗生剤を含む3種類の薬剤を7日間内服します。
- 3 除菌治療後、ピロリ菌を除菌できたか検査を行い確認します。

なお、現時点では、中学生では保険診療として除菌を実施することは認められていません。

成人（原則、高校生以降）では、上記手順により保険診療として除菌治療を受けることが可能です。松山市保健所では、高校生以上になってからの治療をお勧めしています。

●除菌を行う場合、副作用はあるの？

除菌治療の薬剤による副作用として特に注意が必要なのは薬剤に対するアレルギー反応で、今までにペニシリンなどの抗生剤でアレルギー症状がある場合には、必ず医師に相談が必要です。

その他に、下痢や軟便がみられることがあります。

なお、除菌治療については、専門医から改めて、ピロリ菌及び今後の治療等について詳しく説明いたしますので、陽性者の保護者は説明会にご参加ください。



参照：日本ヘリコバクター学会ガイドライン作成委員会

日本消化器病学会ホームページ

【参考】松山市のピロリ菌検査事業の流れ （松山市内の中学校に在籍する中学2年生対象）

松山市はピロリ菌検査（一次/二次）を実施する。
二次検査陽性者は高校生になってから保険診療の形で協力医療機関を受診する。

中学2年時

一次検査：尿中HP抗体

一次検査陽性者

二次検査：便中HP抗原

市が費用を負担。
結果は直接、保護者に送付。

二次検査陽性者

高校入学後、
精密検査を希望する方は、
保健所が発行する診療情報提供書を持って
協力医療機関を受診（保険診療）。

協力医療機関で一般診療として
① 内視鏡検査
② ピロリ菌感染診断
③ 除菌療法/除菌判定 を施行

協力医療機関は
①～③の結果を市に報告。
その後、経過観察。

※協力医療機関

松山赤十字病院
愛媛県立中央病院

●松山市HP（中学2年生へのピロリ菌検査事業）

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/iryo/zukuri/kensin/H-pylori.html>

